

緊急公示

各チーム会長 殿

令和2年4月3日付で関西連盟から公示された通知を受け、以下のとおり通知します。

まず、本通知内容により、以下の2点が確定となります。

【確定事項】

- 一年生合同入団式（阪神甲子園球場）の中止
- 春季予選の中止（ブロック大会、地区予選、予選リーグ戦）
- 春季本戦の中止（関西大会、中国大会、四国大会）

次に、現段階で「未定」となる事項は以下の2点となります。

【未定】

- ジャイアンツCUP予選
- 日本選手権予選

上記未定大会について、中国支部では以下の対応で準備を進める方針です。

《ジャイアンツ予選》

今後、BSY等と深い連携を図り、シニア単体の考え方で対応を協議するのではなく、3リーグで慎重に協議しながら今後の開催等を含め、調整を図る考え。（あくまで中国シニアの考え方）

但し、中国支部としては、現日程での開催（4月末～GW）は、非常に厳しいと判断し、現段階で言えることは「開催未定」としか公表できません。

《日本選手権予選》

今後の日本協会及び関西連盟からの支持を待つのみ。
因みに中国支部としては、ジャイアンツ予選と同様に「開催未定」としか公言できない。

最後に、各チームに発する「それぞれのチーム活動（練習等）」についてですが
今回の通知内容では

「これから各チームの練習については<感染予防の主な注意点>の万全な対策を講じた上で活動お願いします。」

としか明記されていません。

よって、各チームに対する活動等の規制については、これまでと同様の「各チームの責任と判断に任せる」というグレーゾーンの継続となっています。

要は、明確に活動禁止を要請するものではありませんが、活動するなら、各チーム内において、日本協会や専門委員による感染防止マニュアルを元に、それぞれのチームで明確な感染防止対策のルールを作り、最大限の感染予防とリスク管理に努めて下さい。という、非常に重い警告だという認識で受け止めて下さい。

広島県でも更に有症者が増えました。この増大を機に、今後も中国地方で感染者の増大やクラスターの拡大が予想され、事態の好転よりも深刻化が進む傾向が予想されます。

中国支部も、これまで以上に今後の感染状況を深く注視しながら、今後、更なる感染拡大と事態悪化が進むようであれば、前回の初動対策同様、全チームの活動禁止の再公示も視野に入れ、この未曾有の危機に組織一体となり、万全の体制で向き合うことを予め告知しておきます。

今が本当に正念場です。

各チームの皆様方も手洗いうがいはもちろんのこと、今後しばらくは不用な外出等はお控えいただき、各自で最大限の感染予防に努めて頂くよう改めてお願いします。

一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会
関西連盟中国支部 支部長 高木 博仁